様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

平成２９年　６月１４日

愛 知 県 知 事　殿

提出者

住 所　愛知県安城市横山町下毛賀知１０８番地　　氏 名

植村建設工業　株式会社

代表取締役　植村尚寿

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0566-76-2306

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	植村建設工業　株式会社
事業場の所在 地	愛知県安城市横山町下毛賀知１０８番地
計画期　間	平成２９年４月１日　～　平成３０年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種 類	０６：総合工事業
②事業の規 模	元請完成工事高　３６，６００万円
③従業員 数	１１人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事 汚泥→再生処理業者に委託して脱水、中和処理後、再資源化 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 金属くず→再生処理業者に委託して圧縮、切断後、再資源化 混合物→中間処理業者に委託して選別後、最終処分場で埋立または再資源化 木くず→再生処理業者に委託して燃料チップとして再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して選別後、再資源化

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

工事部長（産業廃棄物処理統括責任者）→工事責任者（産業廃棄物処理責任者）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成２８年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td>排出　量</td><td>2013　t</td><td>12.79
t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

委託処理業者との書面による契約の徹底、処理状況の確認を実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td>排出　量</td><td>1800　t</td><td>10
t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

現場ごとにあった工法を提案し、産業廃棄物の排出量を抑制する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
</table>

	①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、金属くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別し、所定の中間処理業者に委託する。
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合物は可能な限り分別するように努める。

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	①現状	【前年度（　—　年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	—	—
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
		（これまでに実施した取組） 実施していない。	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	—	—
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	①現状	【前年度（　—　年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	—	—
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
		（これまでに実施した取組） 実施していない。	

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	―　　t	―　　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―　　t	―　　t
		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（　　―　　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―　　t	―　　t
		（これまでに実施した取組） 実施していない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	―　　t	―　　t
		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				

	①現状	【前年度（平成２８年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
		全処理委託 量	2013 t	12.79 t
		優良認定処理業者への処理委託 量	― t	― t
		再生利用業者への処理委託 量	2013 t	12.79 t
		認定熱回収業者への処理委託 量	― t	― t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	― t	― t
		（これまでに実施した取組） 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をする。		

（第５面）

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
		全処理委託 量	1800 t	10 t
		優良認定処理業者への処理委託 量	― t	― t
		再生利用業者への処理委託 量	1800 t	10 t
		認定熱回収業者への処理委託 量	― t	― t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	― t	― t

		（今後実施する予定の取組） 委託先処理業者には、定期的に実施確認を実施する。
※事務処理欄		

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月 30 日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の 11 第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。